



浄水器用 元止め水栓

721-002・721-003
721-010

施工説明書

施工前に必ずお読みください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

このたびは、浄水器用元止め水栓をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

施工の前に…

- 温泉水・中水・飲用不可な井戸水には使用しないでください。

製品同梱明細について…

- 別紙「取扱説明書」の製品同梱明細をご参照のうえ、部材をご確認ください。

安全上のご注意

施工される前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

- 注意** 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

- 注意** 気をつけていただきたい「注意」を表します。

- 禁止** してはいけない「禁止」を表します。

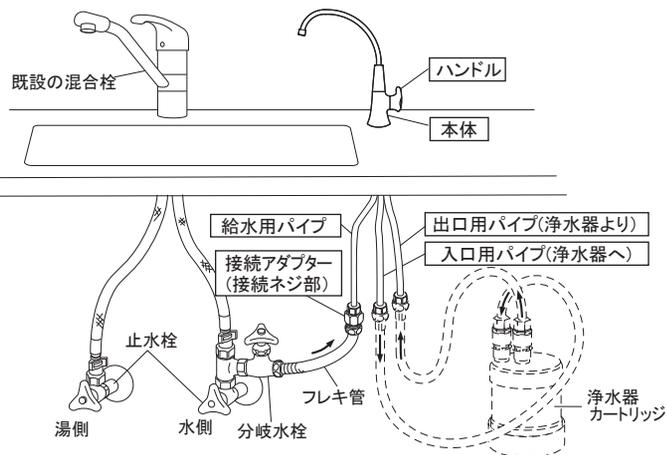
- 必ず実行** 必ず実行していただく「強制」を表します。

施工上のご注意

- 禁止**
 - 配管内の、ごみや砂などは完全に洗い流してください。
 - 分岐水栓は、必ず水側に取付けてください。水を出そうとしても湯が出てやけどをすることがあります。また、浄水器カートリッジの故障の原因になります。
 - 凍結が予想される場所には設置しないでください。凍結破損により漏水し、家財などをめらす財産損害発生の恐れがあります。
 - 製品にもたれるなどして無理な力を加えたり、大きな衝撃を与えたりしないでください。ケガをしたり、製品の変形や破損により漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。
- 必ず実行**
 - 各部の接続を行う際はパッキンがついていることやそれらに破損・変形がないか必ず確認してください。漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。
 - 水勢調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ず設置してください。
 - 給水・給湯配管および止水栓をキャビネットや流し台の裏側(壁の中)に配管(隠蔽配管)する場合は、必ず点検口を設置し、作業可能なスペースを確保してください。経年変化や劣化による漏水を発見できず、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

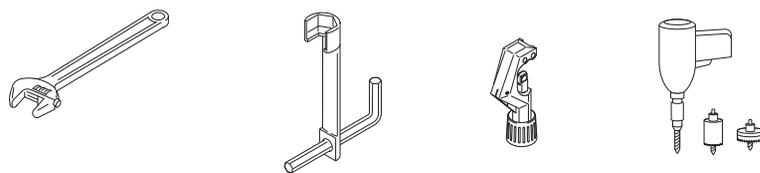
各部のなまえ・取付場所

- 既設の混合栓右側で、他に障害物がなく、水栓のハンドルの操作スペースが確保できる場所。
- フレキ管などで給水本管に接続可能な場所。
- 水栓の下部(流し台下)で既設の配管にぶつからない場所。
- 浄水器のカートリッジ交換が容易にできる場所。(手前に引き出せる場所)



施工に必要な工具

- モンキーレンチ
- 立水栓取付工具
- パイプカッター
- ホールソー



製品仕様

使用流体	上水道水
水栓器具使用水圧	0.05MPa~0.75MPa

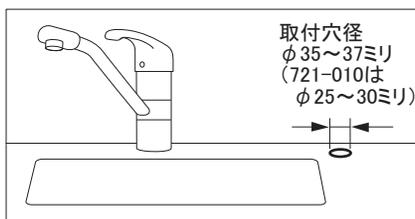
* 使用水圧、使用最高温度などの詳細は浄水器カートリッジの仕様条件でご確認ください。

取付の前に

* 数秒間水を通し、配管内のゴミなどを洗い流してから、止水栓または元栓を閉めて取付作業を行ってください。

取付方法

1. 水栓を取付けます。



- ① 水栓本体を設置する場所にホールソーで穴をあけます。

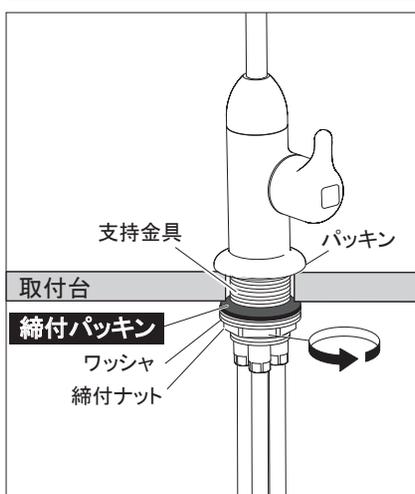
- 必ず実行** ステンレスカウンターで補強板がない場合は固めの補強板(合板など)を取付けてください。

- ② 水栓本体より締付金具・ワッシャ・締付パッキンを取外します。

- ③ 支持金具に締付金具パーツを左図を参考に通します。

- 必ず実行** 締付金具パーツは組付ける順序を間違えないよう取付けてください。

- ④ ハンドル位置を確認して締付ナットを仮締めし、さらに「立水栓取付工具」などでしっかり締付け確実に固定します。

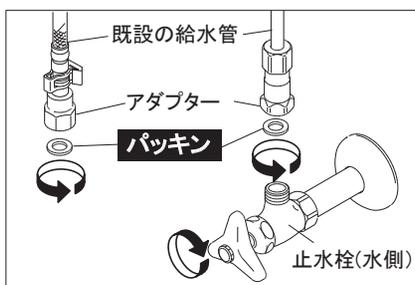


- 注意** 水栓本体が正しく固定されないと、グラついたり、取付台下へ漏水を起こす恐れがありますのでご注意ください。

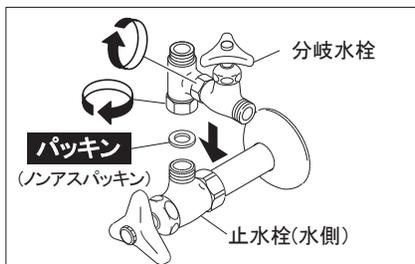
- 必ず実行** 水栓本体が取付穴の中心にくるように固定をしてください。偏って取付けますと、確実に固定されない恐れがあります。

2. 水側を分岐します。

* 下記は分岐水栓【別売】で止水栓から分岐する場合の施工例です。



- ① 既設の水道配管から分岐する場合は、止水栓(水側)を閉めて、給水管のアダプターを「レンチ」などで取外します。

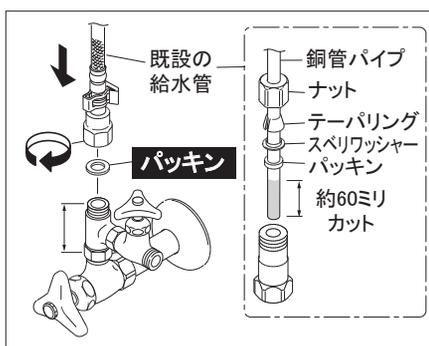


- ② 分岐水栓の袋ナットにノンアスパッキンをはめ込み、止水栓に「レンチ」などでしっかりと締付けます。

- 注意** パッキンが付いていないと漏水します。入れ忘れにご注意ください。

取付方法(つづき)

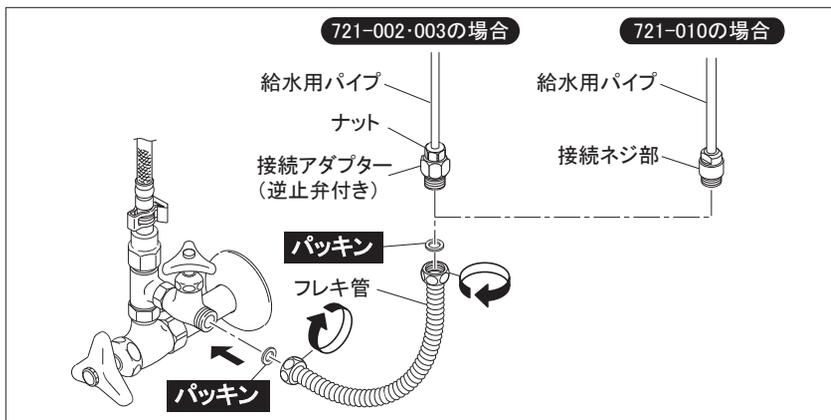
2. 水側を分岐します。(つづき)



③①で取外した給水管のアダプターとパッキンを、分岐水栓に「レンチ」などでしっかりと締付けます。
 * 既設の給水配管が銅管の場合分岐水栓の高さ分(約60ミリ)をパイプカッターでカットしてください。
 無理に取付けますと、銅管がつぶれますので、必ず曲げ半径60ミリ以上を確保してください。

注意 パッキンが付いていないと漏水します。入れ忘れにご注意ください。

3. 給水用パイプに接続します。

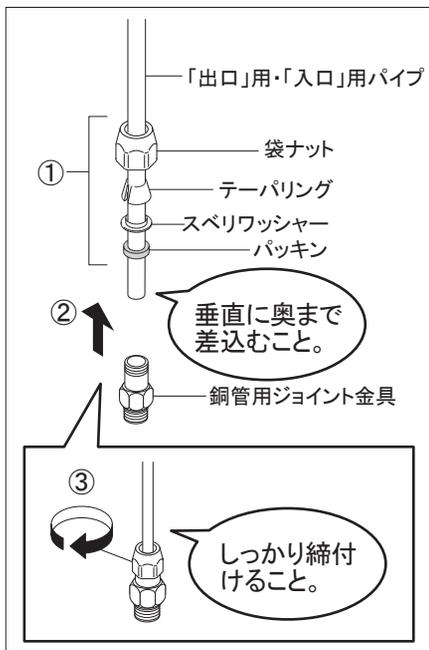


- ①フレキ管【別売】などの袋ナットにパッキンをはめ込み、分岐水栓に「レンチ」などでしっかりと締付けます。
- ②フレキ管の反対側を水栓本体の給水用接続パイプの接続アダプター(逆止弁付き)(721-010の場合は接続ネジ部)に「レンチ」などでしっかりと締付けます。
 * 給水用パイプのナットと接続アダプター(逆止弁付き)がしっかりと締付けられているか確認してください。

注意 パッキンが付いていないと漏水します。入れ忘れにご注意ください。

4. 銅管用ジョイント金具を取付けます。【721-010の場合のみ】

* 721-002・721-003の場合は、「5. 浄水ホースを水栓本体へ接続します。」に進んでください。



①「出口」用・「入口」用パイプに袋ナット、テーパリング、スペリワッシャー、パッキンの順に通します。

必ず実行 袋ナット、テーパリング、スペリワッシャー、パッキンの順序を間違えないように接続してください。誤った順序で接続すると漏水の恐れがあります。

②「出口」用・「入口」用パイプに銅管用ジョイント金具を垂直に奥まで差込みます。

③銅管用ジョイント金具に、パッキン、スペリワッシャー、テーパリングを押し付け、袋ナットを手で締付けてから、「モンキーレンチ」などでしっかりと締付けます。

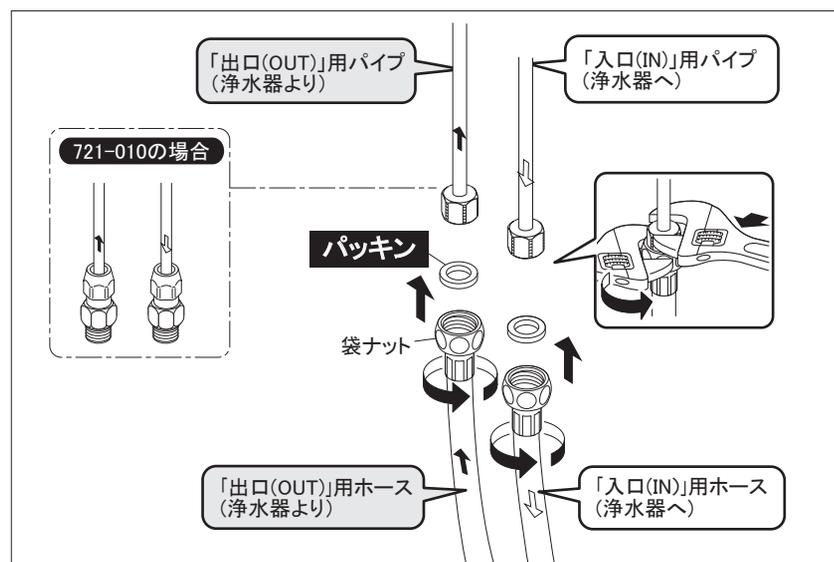
注意 締付けが十分でないと漏水する恐れがありますのでご注意ください。

注意 給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

取付方法(つづき)

5. 浄水ホースを水栓本体へ接続します。

* 浄水器カートリッジ付属の説明書をご参照の上、正しく施工してください。



●「入口」(浄水器へ)用ホースの取付け

「入口(IN)」用ホースの袋ナットにパッキンをはめ込み、水栓本体の「入口(IN)」用パイプ(浄水器へ)に「レンチ」などでしっかりと締付けます。

●「出口」(浄水器より)用ホースの取付け

「出口(OUT)」用ホースの袋ナットにパッキンをはめ込み、水栓本体の「出口(OUT)」用パイプ(浄水器より)に「レンチ」などでしっかりと締付けます。

必ず実行 「入口(IN)」(浄水器へ)、「出口(OUT)」(浄水器より)を逆に接続しないでください。浄水カートリッジ寿命の短縮・破損、水量の減少の原因になります。

注意 パッキンが付いていないと漏水します。入れ忘れにご注意ください。

6. 浄水器カートリッジを取付けます。

* 浄水器カートリッジ付属の説明書をご参照の上、正しく施工してください。

取付後の点検

止水栓または元栓を開き、各部に水もれがないかを確認します。水もれが発見された場合は、止水栓または元栓を閉め、水もれする箇所を施工し直してください。